

2021年度 事業計画



高松空港株式会社

2021年度の事業取り組み（及びアフターコロナ期の成長に向けて）

事業方針

- 2020年度はCOVID-19に伴う旅客数の大幅な減少によって航空業界全体の事業環境が大変厳しいものとなり、**当社においても民営化後の成長基盤形成の核となるリニューアル増改修工事の延期を余儀なくされるなど、多大な影響を受けております。**
- 2021年度は、従前、民営化後の“成長基盤形成期間”の4年目という位置付けで今後の成長に向けた事業体制の整備を企図していたものの、上記を踏まえ、**まずは旅客数のコロナ禍以前の水準への早期回復**を目指して参ります。
- 一方で、**安心・安全の空港運営を大前提**としながらも、アフターコロナ期の事業成長を見据え、**地域や関係各所と連携しながら着実な事業遂行と、新たな需要創出に向けた取り組みを検討していく所存です。**

主要計数項目(※1)

項目	2021年度想定 (単位:百万円)
営業収益	991
空港運営事業	382
ビル施設事業	609
営業費用(※2) (うち、減価償却費)	2,300 (643)
内 空港運営事業	1,242
内 ビル施設事業	722
営業利益(償却前)	▲665
営業利益	▲1,309
当期純利益	▲1,305

※1 上記事業計画は、2021年度の国内線旅客数101万人、国際線旅客数0万人を前提として作成しているものの、2021年度業績に関しては、COVID-19の収束状況、国内線の復便及び国際線の再開、その他マクロ環境等により大幅に変動することが想定されます。

※2 運営償却費を含む

項目	2021年度想定
取扱貨物量	0.3万トン

2021年度の具体取組み

旅客数・取扱貨物量の回復

- ・旅客数及び取扱貨物量のコロナ禍以前の水準への早期回復を目指した取り組みの実施
- ・コロナ対策を通じた安全・安心の提供

エアラインマーケティング

- 国内チャーター便の誘致強化によるインバウンド・アウトバウンド双方での観光交流促進（北海道、東北、下地島等）
- COVID-19収束後の国内移動の回復及び国際線再開を見据え、パートナーシップ協定に基づく自治体と連携した路線誘致策の継続検討

観光プロモーション

- オンラインツール等を活用した香川観光プロモーション
- エアライン・就航先空港等とタイアップしたプロモーション
- 代表企業アセットを活用した首都圏での観光プロモーション

安全・安心な空港運営

- 長期にわたって安全・安心を確保する実施体制の構築
- 新しい生活様式等に準拠した空港内の衛生環境整備

利用者の利便性向上

- ・withコロナ期における空港施設の活性化策の検討

空港アクセスの強化

- 二次交通事業者と連携し、四国・瀬戸内の主要都市・観光地へのアクセス手段の増強および認知向上

空港の賑わいづくり

- 物販催事等による地域住民に開かれた空港施設づくり

設備投資計画

- ・空港運営上必要な設備更新・修繕等の着実な実施

運営権施設への更新投資

投資総額 約2.7億円

<主な投資項目>

- 空港運営に必要な灯火・建物に係る更新工事等

非運営権施設への整備投資

投資総額 約1.7億円

<主な投資項目>

- 旅客ビル施設に関する修繕・更新